

飛騨農林事務所の普及活動状況

令和4年1月31日現在

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■担い手 次年度新規就農者に対する就農計画作成支援

高山市では令和4年3月の就農を目指す若者が、指導農家の元で研修を行っている。農業普及課では、指導農家での実践的な研修と並行し、支援機関（農畜産公社、市、JA）と連携して青年等就農計画の作成支援を行っている。

1月25日に研修生2名に対して第4回目の面談を行い、営農規模、必要な資機材等の最終確認を行った。加えて、令和4年度からスタートする新制度「新規就農者育成総合対策」、農業制度資金の活用方法や資金繰りについて助言・指導を実施した。今後は、新制度や農業制度資金の必要手続き等を支援する。

農業普及課では、新規就農者が就農後、計画に基づき早期に栽培技術・経営管理能力を習得できるように継続して支援を行っていく。 地域支援第二係 田口裕允



【面談の様子】

■新規就農者

■経営管理能力向上に向けて～農業経営簿記個別指導を実施～

確定申告を控え、12月から2月にかけて、飛騨地域の新規就農者（1～5年目）のうち希望者11経営体を対象に、JAと協力して農業経営簿記記帳を指導している。

希望者からの複式農業簿記ソフトの操作方法や仕訳項目などなどの疑問点について対応した。

また、2月末に税理士と連携して確定申告書作成などの研修会を実施予定である。

農業普及課では、新規就農者の経営安定及び営農定着できるように継続して支援していく。



【簿記研修の様子】

地域支援第一係長 水野成雅

■トマト生産者 トマト部会員を対象とした個別面談の実施

農業普及課では、トマト栽培終了後にJAひだの営農指導員と連携し飛騨野菜出荷組合トマト部会員を対象に個別面談を実施した。時期別の収量や果実品質など本年度栽培を振り返るとともに栽培状況や個別事情に応じて次年度の改善事項を協議した。

今年度は、特に品種の切り替えに応じた栽培方法に関する相談が多く、適正な灌水・施肥量や訪花昆虫マルハナバチ受粉による障害果軽減対策について説明を行った。また、面談の締めくくりとして次年度トマト作に臨むための目標を掲げていただき、モチベーション向上を図った。

今後は個別面談内容をまとめ、個人個人に合った普及指導を行っていく。

園芸産地支援第一係 加藤優



【次年度にむけ熱心に検討】

■夏秋トマト 就農支援塾トマトコース「青年農業士に学ぶ」

1月27日、飛騨地域農業再生協議会で開催している「飛騨就農支援塾トマトコース」が最終日を迎えた。12月の開講からトマトに関する栽培技術について関係機関や農業普及課の担当者が交代で講義を行い、1/20と1/27には青年農業士を講師に迎え、出前講座が開かれた。

青年農業士からは、「就農後に役立つ習慣や、研修先、周囲の農業者との人間関係づくり」についてなど、自身の就農時の経験を振り返りながら研修生に向けてアドバイスがなされた。また、研修生からも「就農後の失敗談」などが質問され、就農後をイメージした質疑応答が熱心に交わされた。

農業普及課では、来年度も青年農業士とともに就農支援塾トマトコースで講師を務め、新規就農者の経営開始を支援していく。



【自身の経験からのアドバイス】

園芸産地支援第一係 小田桃子

売れるブランドづくり

■ほうれんそう 成果検討会を開催【スマート農業加速化実証事業】

1月25日、「夏ほうれんそう産地まるごとスマート農業化実証コンソーシアム」の成果検討会が開催された。当事業では①遮光カーテンの自動制御、②ラジコン草刈機の共同利用、③アシストスーツの実証、④AI分析による出荷予測⑤ハウス環境測定の低コスト化及びデータ蓄積の5課題について取り組みを行ってきた。

中でも、遮光カーテンの自動制御は、天候に応じた開閉が可能のため、高温時の収量が14%増加した。

高価なラジコン草刈機は、14名の参画の共同利用により、低コスト利用の可能性が広がった。事業は今年度で終了となるが、農業普及課は、来年度以降もスマート農業技術のほうれんそう経営への導入について検証していく。



【急斜面のロボット除草】

園芸産地支援第二係長 成田久夫

地域資源を活かした農村づくり

■除雪研修に参加 果樹を雪害から守る

飛騨市の2か所の果樹園では、雪による枝折れが例年より発生している。

飛騨市の提案で、1月26日～28日にかけて農林事務所から延べ20名が黒内果樹園の応援と研修を兼ねて除雪作業に参加した。

「カンジキ、スノウシューズ」の装着方法がわからない、融雪のための「堆肥散布」がうまくできない、雪上で度々転ぶなど最初は苦労していた職員も、作業の終わり頃には習熟度も上がった。

普段、果樹生産者・飛騨市と縁のない職員も休憩中にお話合いができ交流も深まった。

農業普及課長 魚住雅信



【枝を掘り出す作業】